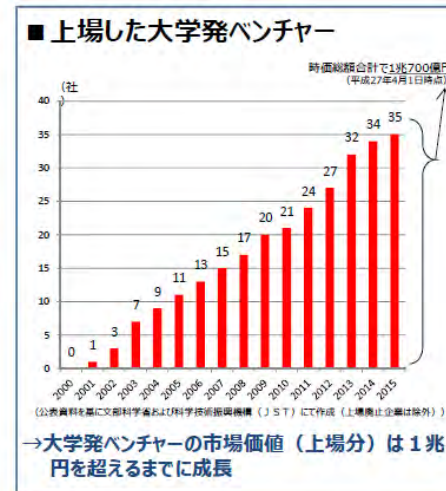
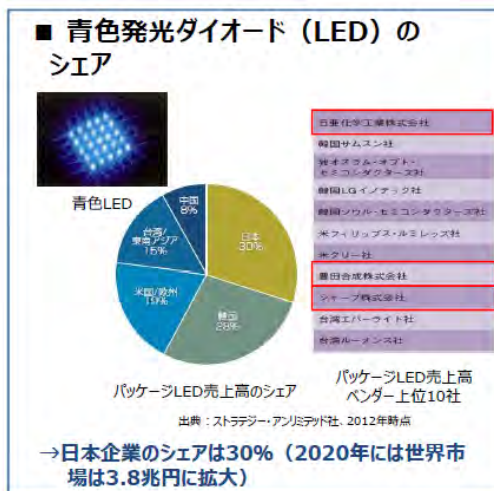
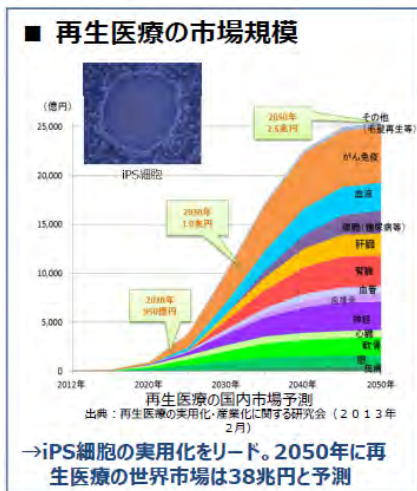


# 持続的な経済成長・発展に寄与する科学技術イノベーション

- これまでの国の科学技術に対する投資拡充は、我が国の**経済成長・発展に一貫して大きく寄与**
- **iPS細胞や青色発光ダイオード**など、新市場開拓につながる革新的技術を数多く創出
- 一方、この10年程度の間、**政府研究開発投資は横ばい**傾向、大学等の**運営費交付金の大幅削減**（これも一因とする、世界大学ランキング順位の低下）等が課題



強い経済（名目国内総生産600兆円）の実現のためには、**科学技術イノベーションの「3本の矢」**による生産性革命や新たな市場の創出が不可欠

## 第1の矢：世界に先駆けた未来社会・生産性革命の実現

- **人工知能／ビッグデータ／IoT**を活用した新産業創出（人工知能の世界市場600兆円(2025年)）
- **スパコン／革新材料**など基幹産業を支える技術強化（ナノテク分野の市場規模約85～270兆円）

## 第2の矢：経済成長や国家安全保障を支える新技術基盤の確立

- 画期的な**医薬品・医療機器**の開発（再生医療の世界市場38兆円(2050年)）
- **省エネルギー・再生可能エネルギー**導入の加速（パワーエレクトロニクスの世界市場20兆円獲得）
- **H3ロケット・次世代衛星**の開発（宇宙機器産業の国内事業規模 累計5兆円(2025年まで)）
- **海洋資源調査技術**の開発加速（我が国EEZ内の海洋資源300兆円）
- 持続的な経済成長を支える**防災力**の強化（南海トラフ地震による経済被害220兆円）

## 第3の矢：革新的イノベーション実現に向けた構造改革・環境整備

- 産学共創による**オープンイノベーション環境**の構築（5年間で200億円規模の民間資金を新規導入）
- 科学技術イノベーションによる**地方創生**（地域の大学等が持つ優れたシーズを基にした新たな事業創出）
- **指定国立大学法人及び特定国立研究開発法人**の創設（世界トップレベルの研究者の確保等）
- **基礎研究・学術研究及び科学技術人材育成、最先端研究基盤の強化**（ノーベル賞受賞者の継続輩出）

# 国土強靱化、防災減災対策の観点からの安全・安心な学校づくり

## 学校施設の果たすべき役割

子供たちの学習・生活の場

地域コミュニティの拠点

災害時における地域の避難所

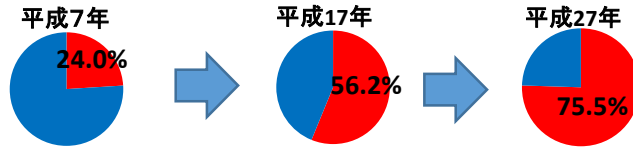
東日本大震災では622校、熊本地震では368校の学校が避難所となり、地域住民の生命・生活を守った。

一方で、天井・ガラスの破損や洋式トイレ不足など、避難所としての利用に課題も見られ、今後、学校施設の耐震化や老朽化対策が喫緊の課題。手遅れになる前に、災害時のシェルター機能や地域コミュニティの拠点など、多機能型の学校施設への転換が急務。

## 学校施設の現状

### ○公立学校施設の急速な老朽化の進行

・築25年以上経過した施設が過去20年で急増



【公立学校で発生した不具合の件数 (H23調査)】

安全面: 年間約1万4千件、機能面: 年間約3万件

### ○改修が必要な国立学校施設の増加

・築50年以上経過した施設が急増 (5年後には更に倍増)

・給排水・ガス・電気設備等の事故が急増  
(耐用年数を超えると事故の発生率が約6倍に上昇)

### ○私立学校の耐震化の遅れ

・国公立は耐震化が概ね完了  
私立学校は更なる取組が必要



## 安全・安心な学校づくり

### ○非構造部材を含めた学校施設の耐震化

→命を守る安全な学校施設へ

### ○トイレの洋式化、空調整備など防災機能の強化

→災害時に安心して使える学校施設へ

### ○老朽施設の改善、長寿命化

→次代を担う人材育成の拠点、地域コミュニティの拠点にふさわしい学校施設へ

